

## V-6 領域への整理

	学 校	家 庭／地 域	関連情報・検査等の所見	必要な指導・援助・配慮	優先順位
教 科	<ul style="list-style-type: none"> <li>似た漢字が正しく読める。</li> <li>語のつながりを意識して文を書く。</li> <li>特殊音節や助詞が正しく表記できる。</li> <li>点画の長短を正確に書く。</li> <li>ブロックを使わずに和が10以上の加算ができる。</li> <li>加減の立式ができる。乘法九九を言える。</li> <li>単位の意味を理解する。</li> <li>単位の読み表記ができる。</li> <li>目盛りを読む。直角がわかる。</li> <li>調べた内容についての具体的な質問を読んで、ノートに答えを記入する。</li> <li>整理の仕方を工夫し、調べたことを自分でまとめられるようにする。</li> <li>比較的使用しやすい楽器で合奏に参加する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>自分から発信することはできる。絵の中の人やもの、文章中の語の関係を捉えることが苦手である。直接経験のないことは適切に答えることが難しい。</li> <li>空間の位置や関係を捉えること、物と物との関係を推測することが苦手である。聴覚記憶は得意で、語彙は多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>似た漢字の形の違いに気づく。</li> <li>語と語の関係を理解する。</li> <li>特殊音節のことばと表記が一致するようにする。</li> <li>マスを使って線の位置や長さを書き写す。</li> <li>和が5までの合成分解を確実にする。</li> <li>和が10以上になる加算の解法の手順を覚える。</li> <li>粘土やタイル、ひも等を使い単位の意味を理解する。</li> <li>それぞれの単位の表記の違いに気付く。</li> <li>事前に調べる内容とまとめる手順を表にしておく。</li> <li>鍵盤ハーモニカで合奏に参加する。</li> </ul>	<p>1 5 2 6 3 4 7 8 配慮 配慮</p>
処身 理辺	<ul style="list-style-type: none"> <li>上着の袖を自分で通せるようにする。</li> <li>洋式便器への移乗を安全にできるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分でできることは自分で行き、できないことは援助を求められるようになってほしい。</li> <li>衣服や持ち物の選択を自分でできるようになってほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>骨盤や肩甲骨周辺の緊張が強く、動きが出にくい。</li> <li>できることを周囲の人がしてしまい、自分で判断し実行する経験が不足しているため、無関心なことが多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>肩周り、腰回りのリラクゼーションをする。</li> <li>立位で左右に重心移動をする。</li> <li>身の回りの準備や後片付けをできる範囲で自分でする。</li> </ul>	<p>1 2 配慮</p>

移動	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的や場所を人に伝える。</li> <li>移動の方法を選択し、介助が必要なときは依頼する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共の交通機関を利用できるようにしたい。</li> <li>将来は電動車いすを利用し1人で行動できるようにしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>介助されることが多く、地理や道路環境に無関心になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>移動の際、目的や場所を介助者に伝えるようにする。</li> <li>地理や道路環境を意識させる。</li> </ul>	<p>配慮</p> <p>配慮</p>
コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助的手段としてコミュニケーションボードを利用する。</li> <li>なれない人でも聞き取れる程度に構音が明瞭になってほしい。</li> <li>順序立てて話ができる。</li> <li>質問に的確に答えられる。</li> <li>伝えたいことを言葉や文章で表現できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族以外の人とコミュニケーションを円滑にとるため、文字盤やVOCAの利用を考えたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分から発信することはできる。絵の中の人やもの、文章中の語の関係を捉えることが苦手である。直接経験のないことは適切に答えることが難しい。</li> <li>不明瞭な構音は、訓練で大きく改善することは難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文字盤とシンボルでコミュニケーションボードを作成し、使用の練習をする。</li> </ul>	<p>配慮</p>
作業	<ul style="list-style-type: none"> <li>間仕切り等を利用し、整理して片付けられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゲームのコントローラーが使える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>机上での作業で緊張が出やすいため、姿勢に配慮が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工具箱やロッカーに仕切りや棚を付け、物の大きさや形状ごとに整理しやすいようにする。</li> <li>簡単な操作で使える入力装置を使い、コンピュータでゲームをする。</li> </ul>	<p>配慮</p> <p>配慮</p>
集団参加			<ul style="list-style-type: none"> <li>自発的な関わりが少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本人の意思を確認し参加させる。</li> <li>役割を意識するよう働きかける。</li> </ul>	<p>配慮</p> <p>配慮</p>
自己統制		<ul style="list-style-type: none"> <li>小額の買い物ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の意思を表明することが少ないために、他人と調整する必要があまりない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活全般を通じて、本人の意思を確認する。</li> </ul>	<p>配慮</p>
余暇		<ul style="list-style-type: none"> <li>活用するリソースを増やしたい。</li> <li>外出先等は、希望を述べ、家族と話し合って決めたい。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>周囲の事象に関心を向けさせる。</li> <li>行事の計画の際に意見を言うように促す。</li> </ul>	<p>配慮</p> <p>配慮</p>
その他					